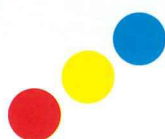




Atsuko Tanaka  
—田中敦子—

STAINLESS STEEL BAR & WIRE  
**NABEKURA**



鋼倉金属工業株式会社 和田山工場  
〒669-5252 兵庫県朝来郡和田山町筒江字中山165番地7  
TEL 0796 (74) 2011 (代) FAX 0796 (74) 0150  
OSAKA・TOKYO

# 僕が見た夢の話

漫画家 コンタロウ(高階光幸)



## プロフィール

たかしな みつゆき(養父町出身)  
昭和26年12月11日生まれ。養父町広谷の薬局の次男として誕生。八鹿高校卒業後、何度かの投稿を経て昭和50年夏、大学在学中に少年ジャンプ赤塚賞受賞。その秋より「1・2のアッホ!!!」でギャグ漫画の連載を始める。以後、「怪盗ルーズ」「いっしょけんめいハジメくん」「ぼくらの時代」「プロレス短編シリーズ」等、主に集英社で作品を発表。最近作は漫画ゴラク短期連載「魔球」、漫画笑ルーム「下町純情ランチ」、漫画釣王「サラリーマン釣道講座」、新年より宝島社の新雑誌に連載中。



但馬を離れて、もう27年になりま  
す。  
思えば、中学生の頃から僕は漫画の  
ことばかり考え、東京の方向を向い  
ていました。でも、最近は何のせい  
もあるのか夢の中にも但馬の風景  
が現れます。懐かしい但馬の風景  
の中でも一つ選ぶとすれば、それは  
円山川の土手の長い道です。その  
道をエッチラオッチラ、一人自転車  
をこいで豊岡の街に向かう中学生  
の自分が見えてきます。当時、高度  
成長期にさしかかり漫画の世界も、  
スポーツ根性ドラマやH漫画が登  
場し、人気を集め漫画ブームと言わ  
れ始めていました。しかし、中学生  
の僕はそういった漫画に素直に熱  
中する読者ではありませんでした。  
自分が幼い頃読んでいた手塚治虫  
の作品の方がずっと面白く内容的  
にも優れていたような気がして、  
手塚治虫の古い単行本を探しに養  
父町広谷から自転車で片道二時間  
をかけて、豊岡の貸本屋へ向かって  
いたのです。貸本屋には本屋には  
無い古い本があります。そのなか  
らめばしい手塚作品を選んで借り  
てくるのではなく、買い取ることが  
目的でした。こんな中学生は見た

ことがなかったのでしょうか。貸本  
屋のおばさんが不思議そうな顔で  
本を売ってくれたのを覚えていま  
す。広谷や八鹿の貸本屋はすでに  
回り、それでも飽きたらうすの遠征で  
した。  
その頃買った手塚治虫の単行本  
の一冊は今も手もとにあります。  
『フィルムは生きています』というポ  
ロポロになったこの単行本をめく  
ると、古いアルバムの自分の写真を  
見ているような気がしてきます。  
もし、時間を飛び越えてあの頃の自  
分に出会えたら、僕は何と言うでし  
ょうか。何くわぬ顔で「そんなに漫  
画が好きなら漫画家になつたらっ  
」とも言うってみましようか。中学  
生の僕はきつとこう答えると思ひ  
ます。「おじさん漫画家なんてそん  
な簡単になれるものと違うで。」  
あれから、三十数年経った現在、  
東京で漫画を描いているのは夢の  
ような気がします。そのうち、フ  
ツと夢からさめたら、自分はまだ円  
山川の長い土手道を手塚治虫の古  
本を求め、一人でエッチラオッチラ  
自転車をこいでいるのかもしれま  
せん。